

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援 第2チャーム				公表日	R8 年 3 月 18 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		ブレイルーム、スヌーズレン室、相談室等適切である。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7		有資格者を配置している。	人員配置基準を超えて職員を配置するよう努めている。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		ベビーゲートを設置し、安全に配慮している。視覚支援も取り入れている。	バリアフリー化はされているが、一部、車椅子でのスムーズな入室が難しいところがある。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		毎日の清掃や消毒、換気を行い気持ちよく過ごせる環境を整えている。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		個別に活動できるスペースを確保している。	個室の確保は難しいが、環境調整しながら落ち着いて過ごせるスペースを設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		常に情報を共有し、課題があった場合は速やかに話し合いを行い、解決できるようにしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			保護者からの評価結果を踏まえ、業務改善に向け職員間で話し合いをしながら改善・検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		意見交換しやすい環境になっており、ミーティングを行い業務改善に努めている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		現在は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月研修の機会を設けており、支援の質の向上に努めている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて支援プログラムを公表し、事業所玄関にも設置している。	適切に支援プログラムが作成、公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者へのアンケートやアセスメント、面談を実施し、ニーズを踏まえて計画を作成している。	サービス等利用計画を踏まえた計画となっている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員間で会議を行い、情報を共有しながら計画を作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		毎月目標設定・評価を行い、計画に沿った支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		5領域に沿ったアセスメントを行っている。	標準化されたツールは使用していないが、検討していく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な項目を踏まえた個別支援計画になっている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	事業計画策定会議を行っている。ミーティングで話し合いをし、活動プログラムを立案している。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		担当となった職員が中心となって活動内容を提案し、活動内容が固定化されないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		発達段階に合わせて課題を設定し、個別活動と集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	日程表を作成し、確認している。	急な変更や欠席等の確認を徹底する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		ミーティングで情報を共有し、支援の方法や課題等を検討している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の記録に加え、行動や対応も記録し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	年2回モニタリングを行い、支援計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		個々の状態に合わせて基本活動を組み合わせ支援している。	ガイドラインをいつでも確認できるようにしている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7		選択をする機会を設けながら支援している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当職員からも聞き取りを行っている。	児童発達支援管理責任者が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	関係機関と連携する体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者から予定表を頂いたり、学校の送迎時等に確認しながら適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	担当者会議に参加して情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			要請があった場合等、状況に応じて行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			障害児通所支援事業所連絡会やネットワーク会議に参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	長期休みの際には、高校生のボランティアを受入れて交流する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		障害児通所支援事業所連絡会やネットワーク会議に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や迎え時、場合によっては電話で伝え、共通理解に努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	ペアレント・トレーニングは行っていないが、対応についてはその都度相談に応じている。	家族が参加できる機会を設けていきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		運営規程等は契約時に説明し、玄関にも掲示している。また、変更があった場合にはその都度同意を頂いている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		アンケートを実施したり、面談を行い個別支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		説明して同意を得ている。また、コピーを保護者に渡している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2	親子運動会・親子遠足を実施し、交流する機会を持った。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		権利擁護委員会を設置し、苦情があった場合は速やかに対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	法人の会報を配布している。また、ブログで日々の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		契約時に個人情報同意書の説明し同意を頂いている。写真掲載についても確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に合った対応をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		地域住民を招待した行事を企画しているが、十分とは言えない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルは作成して職員に周知している。	家族への周知を工夫していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		計画に従い毎月訓練を実施している。また、発生に備えて備品を準備している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			契約時に確認し、変更があった場合には連絡頂くようお願いしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		ホワイトボードを設置し、常に確認できるようにしている。	契約時に確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、計画に沿って訓練や点検を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		個別支援計画に記載し、周知している。	家族への周知を工夫していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		その都度会議を開催して情報共有し、ケース記録や指定のファイルに記録している。	事前に回避できるように支援する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		毎月アンケートを実施したり、研修の機会を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		個別支援計画でも説明している。	重要事項説明書に記載している。現在該当児はいない。	